

当社の石油製品供給体制について(第10報 3月30日15:00現在)

このたびの東日本大地震で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社の石油製品供給につきまして、関東地区においては、震災前並みの供給が可能な体制に復旧いたしました。依然として東北地方においては、ガソリン・灯油などの不足が生じており、お客様には多大なご迷惑とご心配をお掛けしております。

当社は、石油製品の供給安定化に向けて下記のとおり全力を挙げて取り組んでおりますので、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

記

1. 生産体制

被災により停止中の仙台製油所、鹿島製油所の生産装置につきましては損傷が大きいことから復旧の目途がたっておりません。再稼働に向けて全力を挙げてまいりますが相当の時間を要するものと見込まれます。

生産能力低下を補うため、石油製品輸入および他の石油会社からの製品購入等を実施しております。また、輸出用石油製品の国内向けへの振替えを行っております。

製油所 操業状況

| 製油所 | 精製能力(千BD) | 生産(精製)装置稼働状況/出荷状況 |
|-----|-----------|---|
| 室蘭 | 180 | ・フル生産中 ・通常出荷に加え、東北地方へタンカー(船)で転送 |
| 仙台 | 145 | ・被災により生産・出荷※とも停止 ※但し、仮設の設備から僅かな数量の出荷を実施中 |
| 鹿島 | 252.5 | ・被災により生産停止 ・在庫および西日本からの転送により通常出荷 |
| 根岸 | 270 | ・フル生産に向け稼働率アップ中 ・通常出荷に加え、東北地方へタンク車(鉄道)で転送 |
| 大阪 | 115 | ・定期修理により停止(3/11～4/13) ・輸出用の在庫を国内向けに振替えて出荷 |
| 水島 | 400 | ・フル生産中(3/21より、精製能力を20千BD増強) ・通常出荷に加え、関東地区へタンカー(船)で転送 |
| 麻里布 | 127 | ・フル生産中・通常出荷に加え、関東地区へタンカー(船)で転送 |
| 大分 | 136 | ・フル生産中・通常出荷に加え、関東地区へタンカー(船)で転送 |

注)コンデンセートスプリッター(鹿島63.5千BD、水島(研究設備)35千BD)込み

2. 東北地方への供給体制

「国、自治体が優先する先」「救命、救急に関わる先」を最優先としつつ、可能な限りガソリンスタンド(ENEOSサービスステーション)等への供給を行っております。

北海道や関東からの製品の転送により供給量を確保するとともに、タンクローリー不足への対策として、西日本や北海道より東北地方(新潟を含む)へタンクローリーを投入(約150台を予定)し、陸上運送体制の強化を図るなど、早期の供給正常化に向け努めております。

東北地方へのタンクローリー出荷基地(油槽所)

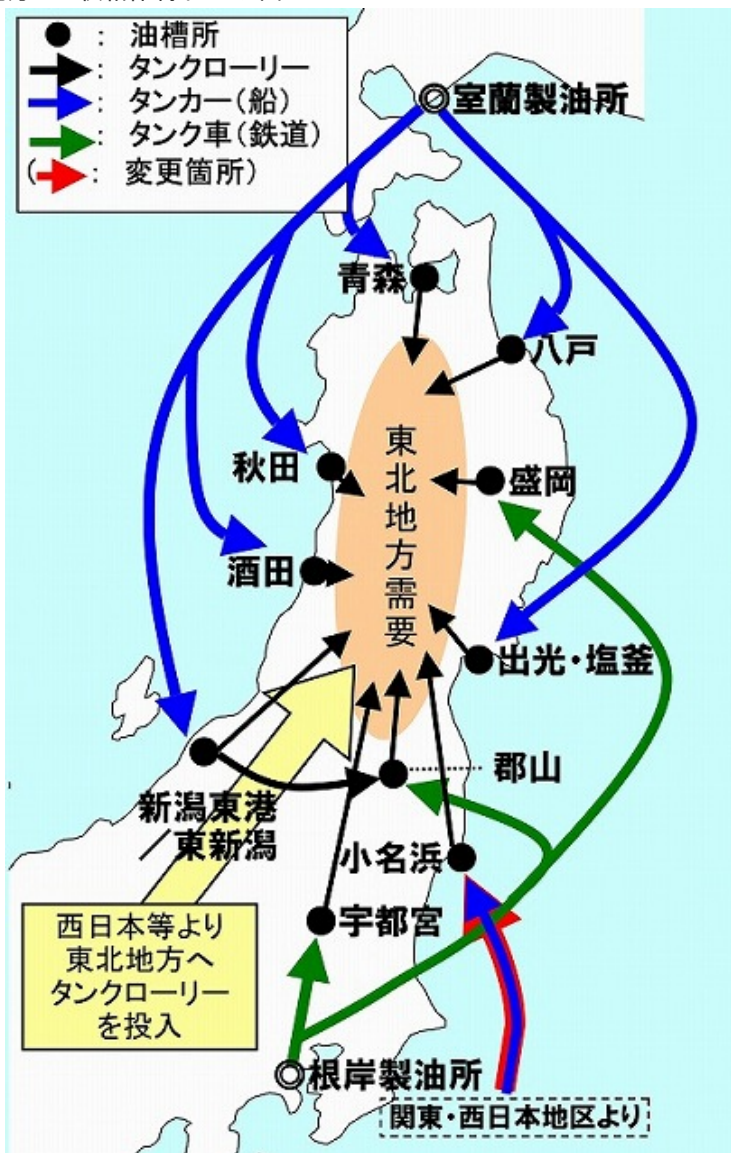
| 立地 | 油槽所名 | 主な供給ルート(転送元)等 |
|-------|---|--|
| 日本海沿岸 | 青森※ ¹ 、秋田、酒田※ ¹ 、新潟東港、東新潟※ ¹ | 室蘭製油所より(タンカー(船)) |
| 太平洋沿岸 | 八戸、八戸※ ¹ 、塩釜※ ² | 室蘭製油所より(タンカー(船)) |
| | 小名浜 | <u>3/29より、関東地区から受入再開(タンカー(船))</u> |
| | 小名浜※ ¹ | <u>3/31より、関東・西日本地区から受入再開(タンカー(船))</u> |
| 内陸部 | 盛岡※ ³ 、郡山※ ³ 、宇都宮※ ³ (宇都宮の主な出荷先は関東) | 根岸製油所より(タンク車(鉄道)) 郡山は新潟からのタンクローリー転送あり (盛岡、郡山は関東から転送したドラムでの出荷もあり) |

※1: 東西オイルターミナル株式会社運営

※2: 出光興産株式会社運営(出光興産株式会社との共同利用)

※3: 日本オイルターミナル株式会社運営

3. 東北地方への供給体制イメージ図



4. 被災地のガソリンスタンド設備復旧計画

現在、被災地の多くのENEOSサービスステーションでは、建物・機器破損等により、稼動に支障が生じております。
また、稼働が可能と確認されたSSにおいても、計量機や配管等の一部破損による給油能力の低下、在庫状況による休業や営業時間の短縮(在庫が切れた段階で閉店等)、緊急車両のみを対象とした営業などにより、お客様には多大なご不便をお掛けしております。

被災地のENEOSサービスステーション(SS)の状況:3月28日現在

| | 青森 | 岩手 | 宮城 | 秋田 | 山形 | 福島 | 東北計 | 茨城 | 千葉 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| SS数 | 152 | 192 | 241 | 174 | 151 | 298 | 1,208 | 538 | 499 |
| 稼働が可能と確認されたSS | 151 | 173 | 203 | 174 | 150 | 253 | 1,104 | 534 | 496 |

こうしたなか、安全確認の徹底と破損した設備の復旧を早期に行うために、本日より、以下のとおり、東北地方の全ておよび茨城県・千葉県[※]の太平洋沿岸地区のENEOSサービスステーションの設備復旧に向けた調査および補修を開始いたします。

【設備復旧計画 概要】

対象：東北6県の全て(原発トラブルによる避難地域は除く)
および茨城県・千葉県[※]の太平洋沿岸地区のENEOSサービスステーション

実施内容：設備調査および必要となる補修(全壊した計量機の交換等)

日程：3月30日～4月11日 建物や計量機等の設備詳細調査
4月4日～5月15日 タンク・配管の気密検査・水分検査
(必要な補修は調査後、速やかに実施)

体制：当社および計量機メーカー、看板メーカー、検査会社による
専任チームを組織(合計約120名体制)

[※]茨城県・千葉県においては、太平洋沿岸地区ではなくても、復旧支援が必要とされるSSは調査および補修を行います。

以上

● お客様へのお願い


各地域のガソリンスタンドの運営状況につきましては、当社ホームページのサービスステーション検索をご参照いただき、大変お手数ですが、各ガソリンスタンドに直接お問合せ願います。

なお、一部店舗において営業休止のため、従業員が不在の場合がありますので、ご了承いただくようお願いいたします。
警察当局からのご指導により、SSの前に行列を作りますと、緊急車両の通行や周辺住民皆さんへのご迷惑になりますので、ご注意くださいようお願い致します。

<サービスステーション検索 サイト>

パソコン：<http://eneos-ss.com/search/ss/pc/top.php>

携帯サイト:

20110316_01_01_0944355.gif

● 【お問い合わせ先】

ENEOSお客様センター :0120-56-8704
30日(水)9:00~19:00
31日(木)9:00~17:00

※ガソリンスタンドの運営状況およびタンクローリーの配送状況のご案内はいたしていません。

※朝方などは、電話が集中してつながりにくい場合がございます。

その場合は、恐れ入りますが、お時間を置いてお問い合わせいただきますようお願い致します。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

広報部広報グループ :03-6275-5046